

市民の暮らしと命を守るため

長い間の悪しき慣習である 談合政治をやめます

龍ヶ崎市の「ニュータウン開発」で、公共事業が増加したため、建設業界において公共事業の談合政治は必要不可欠との誤った認識が常識化したと考えられます。その後業界では、市の公共事業が主流となりました。

しかしこれからは、公共事業だけに頼るのではなく、市民の暮らしを支える、市民に喜ばれる建設業者が望まれます。そのためには、業界の意識改革と再生に対し、市として尽力しつつ、希望があれば、人手不足の農業や福祉医療分野への進出等も支援したいと思えます。



- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 昭和28年7月7日生 龍ヶ崎市市議会議員 (2期 文教福祉委員長) 福岡県立伝習館高校卒 (柳川市) 尚美高等音楽学院卒 (現 尚美学園大学) 筑波大学にて科目等履修生として政治学、行政学を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市芸能協会役員 龍ヶ崎市音楽協会会員 龍ヶ崎・伊達都祭りの会代表 みやげ店「みやこや」店主 娘家族と孫2人 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

「道の駅計画」は 白紙にもどします

—— 龍ヶ崎夢プラン ——

歴史とロマンの街龍ヶ崎
市内の商店街に、歴史イベント館を設置し、常設の観光拠点とします。
水辺からの歴史とロマン
牛久沼は、景観を生かした公園を造り、散歩道等を整備して、市民の憩いの場とします。
蛇沼の古いレンガの洋館を再生して「文化開拓資料展示室」とし、増築して小ホールを造り、カフェレストランを設置します。このプランには、障害者の働く場の提供も行います。

<https://fujikiryutown.com>

- 母子や高齢者のため、福祉と医療体制の充実を進め、コロナに負けないシステムを構築します
- 若い人達が龍ヶ崎市に住みたいと願う街へ雇用と子育て環境支援を充実させます
- 歴史的遺産を活用し、街の活性化と商工観光の振興を進めます
- 美しい龍ヶ崎市の自然と環境を守ります
- 農業政策を推進し、強い農業を目指します
- 市民のための文化行政
- ふるさと納税の拡充



無所属
ふじき 妙子
たえこ
68歳



市民と
つくる

龍ヶ崎の新時代



市民に見える 透明な市政改革

- 市政情報の発信
市政への要望について市長が責任をもって答えます。HP等で公表します。
- 市職員の改革
公正公平な人事評価の見える化。やる気を出す意識改革。職員のスキルアップ(専門機関・大学等への出向)。
- 出前市長室
小学校区単位で市長自らが出向き意見を聞きます。

●昭和50年7月24日生まれ満46歳 龍ヶ崎小・城南中・県立牛久高卒 中央学院大学法学部卒
明治大学公共政策大学院修了(公共政策修士) H11～参院議員・狩野安秘書
H19～龍ヶ崎市議会議員 H21～茨城県議会議員

自由民主党 / 国民民主党推薦



子育て・教育の 新たなステージへ

- 特色ある先進教育を目指します。
小中一貫校(義務教育学校)の創設。IoT教育。郷土教育。
- 子ども基金
基金を創設して教育環境の充実を図ります。
- 若者の生活支援
婚活・妊活・子育ての支援等、若者の生活支援と相談を受ける窓口を創設します。

スポーツ・健康・長寿が 続く未来へ

- 自然×遊びの環境整備
森林公園や牛久沼を、アスレチック・水上スポーツ・キャンプ・グランピングに活用します。
- プロスポーツチームの招聘
プロスポーツチームの活動拠点として市をプロモーションします。
- スポーツによるまちづくり
いばらきサイクルツーリズム、牛久沼トレイル構想、総合運動公園の再整備。
- 安心の医療体制の充実
済生会の救急医療、開業医の誘致を進め、市内医療体制の充実を図ります。
- 県内1位の健康長寿社会を目指します。
流経大との地域連携交流。福祉相談コンシェルジュの窓口創設。



はぎわら 勇
46歳

変える力 進化する龍ヶ崎

先送り、逆戻りを許さない! 龍ヶ崎改革



プロフィール

- 昭和37年11月13日龍ヶ崎生まれ
- 市立龍ヶ崎小学校、愛宕中学校卒業
- 県立龍ヶ崎第一高等学校卒業
- 日本大学法学部法律学科卒業
- 衆議院議員政策担当秘書
- 国務大臣防衛庁長官秘書官
- 元茨城県議会議員

主な役職

- 龍ヶ崎市長
- 稲敷地方広域市町村圏事務組合 他2組合管理者
- 茨城県河川協会会長
- 茨城県道路整備促進協議会会長
- 道全協広報委員長
- 茨城県市長会監事



現在のしわ寄せを
子どもたちの世代に先送りしない
カーボンニュートラルを推進。SDGsを市政の指針に。
2050年問題、社会の負担軽減に真剣に取り組む。
古い常識から脱却した、不正を跳ね返す龍ヶ崎市に。

子どもたちと子育て世代の夢を実現

少子化の時代の新しい教育で、教育力を増強。
保育園の新設(来年4月)などで、待機児童0。
つぼみ園を独立、新設。将来の児童発達支援センターへ。

市民力! ワンチームで龍ヶ崎を守る

3回目の接種を加速化させ、コロナに屈しない龍ヶ崎。
アフターコロナ対策で、経済的不安を解消。
市民力、地域力を増強し、防災減災、安全安心を強化。



無所属
なかやま かずお
59歳

○投票できる人

(次の全てに該当する人)

- 選挙人名簿に登録されている人
- 平成15年12月20日までに生まれた日本国民
- 令和3年9月11日以前から引き続き龍ヶ崎市に居住し、住民基本台帳に記録されている人

○投票日当日

午前7時から午後7時まで
入場券に記載の各投票所

○期日前投票

- 投票期間 12月13日(月)～12月18日(土)
- 場所・時間
 - ◆市役所 1階ホール：午前8時30分～午後8時
 - ◆サプラスクエア サプラ内 光のモール：午前10時30分～午後7時
- 対象 投票日当日に、仕事、レジャー、冠婚葬祭などの事由に該当すると見込まれる方

龍ヶ崎市長選挙

投票日 12月19日

大切な一票 棄権しないで投票しましょう！